

お忙しくても、約 2 分間で読めます

山内公認会計士事務所

ハートフル・ワード (心からの言葉)

TEL 098-868-6895
FAX 098-863-1495

経営者への活きた言葉

製造業が勝ち続けるためには環境技術が何より重要 井上 礼之 (ダイキン工業会長)

1. これからの時代、日本の製造業がグローバル市場で勝ち続ける上で、「環境技術」が何よりも重要になる。「持続的な成長」という人類・地球全体の課題に対し、製造業ができる最大の貢献は、環境技術を磨き、その成果を商品やサービス、ソリューションの形で提供することだからだ。
2. 環境への取り組みは今や製造業だけでなく、あらゆる業種・業界において重要なテーマとなってきた。例えば飲食店などのサービス業においても、食材の流通段階でのCO₂排出といった環境負荷の軽減や食品ロスほか廃棄物の削減など、サプライチェーンを含めて環境を論じる必要がある。モノの所有を前提とした大量生産・消費から、レンタルやシェア、リユースへと消費者の志向が変ってきていることも見逃せない。
3. 経営者は理想を追い求める一方で、誰もが適用できる現実的な「最適解」を導き出さなければならない。自社の利益を犠牲にしてまで公共性を追求したら会社は立ち行かなくなるという見方もあるだろう。だが、地球環境への貢献と本業の成長は矛盾なく、ともに追求できると信じている。

(参考:「日経ビジネス」2018年3月19日号)

経営者のための社会学

新・階級社会の誕生と背景

橋本 健二 (早稲田大学教授)

1. 格差拡大の起点は、高度経済成長の終焉です。賃金の規模間格差、学歴間格差の拡大から始まり、1980年代からあらゆる格差が拡大してゆく。バブル後半になると初めは正社員も非正規労働者も求人倍率が上がっていたのですが、正社員が上がらなくて、非正規ばかりが上がるようになりました。
2. 1987年にフリーターという言葉がはやり、新卒の若者たちが大量に流れ込みました。フリーター第1世代は50歳を超え、氷河期世代も40歳を超えてきたのが今です。非正規は雇用の調整弁といわれてきましたが、近年の動きを見ると、景気変動と非正規労働者の増減に相関はありません。雇用の調整弁ではなく企業が収益を上げるために、構造的に組み込まれた要素になっています。

(参考:「週刊ダイヤモンド」:2018年4月7日号)

ワンポイント経営アドバイス

関心が集まる「健康経営優良法人」

尾形 裕也 (九州大学客員教授)

1. 経済産業省は、東京証券取引所と共同で、従業員の健康管理を経営的な視点で考え、戦略的に取り組んでいる企業を「健康経営銘柄」として選定し、公表しています。企業の健康経営の取り組みが株式市場において、適切に評価される仕組みで、大きなインパクトを与えています。銘柄指定されるかどうかは、企業としては大きな関心事ですし、学生さんも就活時の会社選考で参考にするという話も聞いています。
2. しかし、「健康経営銘柄」は、上場大企業に限られてしまうため、昨年からは「健康経営優良法人(ホワイト500)」という制度が動き出しました。中小企業、非営利組織なども選定の対象となるため、こちらも大きな関心が集まっています。

(参考:「週刊東洋経済」2018年3月31日号)

古典に学ぶ

富と共に精神の向上を進める

(解説) 私は常に精神の向上を富と共に進めることが必要であると信じておる。人はこの点から考えて強い信仰を持たねばならぬ。私は極楽も地獄も心に掛けない。ただ現在において正しいことを行つたならば人として、立派なものであると信じておるのである。(参考: 渋沢栄一「論語と算盤」): 国書刊行会